

7月8日(火)、宮城県仙台市立中野栄小学校で『SUPER GT特別授業“自分づくり教育”キッズ☆ドリームエクスペリエンス』が行なわれ、Wheelsメンバーの吉田広樹、吉本大樹、星野一樹、片岡龍也、佐藤晋也、山内英輝の6名がゲストとして参加してまいりました。

このイベントは「ニッポンを元気に！」を合い言葉にSUPER GTが続けている東日本大震災の復興支援活動の一環として行なわれたもので、昨年7月に石巻専修大学で開催された「SUPER GT ISHINOMAKI EXPERIENCE 2013」に続く第2弾イベントとしてWheelsが全面協力、宮城県仙台市内にある中野栄小学校を訪問してきました。

今回の会場となった仙台市立中野栄小学校には、東日本大震災による津波の被害を受け校舎が使えなくなった中野小学校の児童約60名も通っており、中野小学校の全校生徒および中野栄小学校の5～6年生約190名を対象に午前と午後の2部制で実施されました。

午前10時45分から始まった『SUPER GT特別授業“自分づくり教育”キッズ☆ドリームエクスペリエンス』では、WheelsドライバーとRSファインのスタッフによるトークショーが行なわれたほか、昨年まで使用されていたNo.4 グッドスマイル 初音ミク Z4が展示され、RSファインのスタッフがエンジン始動やタイヤ交換のデモンストレーションを披露すると、児童たちからは驚きの声が上がりました。さらに代表児童によるエンジン始動体験やタイヤ交換体験を実施し、レーシングカーに触れてもらう絶好の機会となりました。

イベントの終盤には「キッズ☆ドリームエクスペリエンス」に参加した児童たちとWheelsドライバーの記念撮影を行なったほか、吉田理事長らが7月19～20日にスポーツランドSUGOで開催された第4戦のレース

観戦チケットの目録やサイン入りポスター、ミニカーを贈呈。それを受けた各学校の代表児童から今回のイベントに対するお礼の言葉をいただきました。

すべてのイベントが終了すると、ドライバーたちは一列に並び、今回のイベントに参加した児童ひとりひとりにステッカーやバッチをプレゼントしながら、ハイタッチするなど別れを惜しんでいました。

今回のイベントではドライバーやレーシングカーを身近に感じることで子供たちにレースに興味をもってもらい、さらには夢をもつこと、そしてその夢を叶えるために努力を続けることの大切さを伝えられるよう務めてまいりました。そのなかで子供たちの笑顔に触れることができ、Wheelsメンバーも貴重な体験をすることができました。

この場を借りて、このような機会を与えてくださったSUPER GTおよび関係者の皆様にお礼申し上げます。

